

【令和4年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として11年目を迎え、聴覚障害者の生活と権利を守りながら県域の聴覚障害者当事者団体として1年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

【兵庫の運動】

旧優生保護法によるろう者の強制不妊手術・断種・中絶問題について、令和3年8月3日の神戸地方裁判所の判決は原告側の敗訴となりましたが、控訴し大阪高等裁判所で裁判を展開してきました。この度令和5年3月21日に判決があり、国に対して、優生保護法に基づき行った不妊手術や人工妊娠中絶は、憲法13条、14条1項に違反であり、立法を行った国会議員、国の責任であると断じました。合わせて原告（控訴人5人）に対し総額4,950万円の賠償を命ぜられました。逆転勝訴となり喜び合いましたが、国は判決に不服とし上告しました。また、令和5年3月3日、新たに県内の聴覚障害女性2名が国に対して神戸地方裁判所に提訴しています。

「手話言語条例」制定に関しては、令和4年度中に手話言語条例を可決した市町はなく、県内28自治体（26市2町）で条例が施行されています。施行後の手話言語に係る施策を展開していくことは重要課題であり、手話言語の普及のみにとどまらず、手話言語を必要とする市民が、手話言語を利用しやすい環境に整備していくこと等が求められています。

兵庫県に「兵庫県手話言語条例（仮称）」の制定をめざして要望書を提出する等、要望を続けています。引き続き、県及び未制定の市町に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会と共に働きかけていきます。

国連「手話言語の国際デー」に合わせて、世界ろう連盟の「手話言語にブルーライトを当てよう」イベントの立ち上げに呼応し、当協会も兵庫県と連携しながら、各市町や地域ろうあ協会に働きかけたところ、県内35カ所で実施できました。令和5年度も引き続き実施します。

コロナ関連の県知事会見は現在も手話通訳が配置されています。聴覚障害者情報センターでは引き続き動画による配信やコロナに関する医療現場の聴覚障害者の情報・コミュニケーション保障として遠隔手話通訳の確立に取り組んでいます。対面形式も含め今後とも手話言語による情報配信や医療等生活において情報コミュニケーション保障が拡充できるよう取り組んでいきます。

会員拡大については昨年比33名減少の613名でした。さまざまな要因がありますが、地域ろうあ協会と連携を取りながら課題の克服に取り組めます。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標（読者数1,006部）のところ562部で未達成です。季刊みみの購読も併せて今後とも拡大にご協力をお願いします。

【協会の事業】

コロナ禍のため中止していた行事の再開をし、第39回兵庫県ろうあ者大会（西宮）が3年ぶりに対面で開催、第49回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（尼崎）も感染対策を行い開催することができました。いずれも時間を短縮しての実施ですが、コロナ禍で人と会えなかった会員、手話関係者は久しぶりの仲間との再開に喜びであふれました。

兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、にしのみや聴覚障害者センター、たつのころあハウス、たつのご工房、聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関してもコロナ禍の中、行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図

りながら、円滑な運営に努めてきました。各事業所においてもコロナ禍による減収があり、安定した運営が課題となっています。今後ろう者の権利と生活を守りながら、さまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

【今後の取り組み】

当協会に結集する仲間を増やすために会員拡大や組織強化に取り組んでいきます。地域協会と連携を取りながら、未組織地域のろうあ協会の結成や組織強化に努めていきます。

全国的に「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」が広がっています。兵庫県においても取り組みが始まります。当協会としても県教育委員会や関係機関と連携し、兵庫県立聴覚障害者情報センターに設置運営していくように努めていきます。

施設づくりについて兵庫県下は、ろう者のための社会資源がまだまだ少ないため、県下各地に拠点となる施設や事業を作っていきます。

兵庫県及び県内各市町すべてに手話言語条例を制定していきましょう。今後とも聴覚障害者に対する理解や手話言語を広めていき、真の共生社会の実現をめざしていきます。

【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、新型コロナウイルス感染症で生活や行動の制限がある中、運動の歩みを止めず、2022年5月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進」が制定、9月には国連障害者権利委員会からの日本政府への勧告、2025年東京デフリンピック招致決定と運動の成果を積み重ねています。

司法の場では、きこえないことの無理解から大阪府立生野聴覚支援学校女児事故損害賠償訴訟で、逸失利益を全労働者の平均賃金の85%とする判決が大阪地方裁判所で下されました。障害のある人はない人に比べて賃金が低くてもやむなしという司法判断がされことは、障害を持つすべての人への尊厳を傷つけ、障害を理由とする差別であり優生思想そのものです。原告側は控訴し、今後は大阪高等裁判所でのたたかいとなります。

手話言語条例については、令和4年度も地方自治体に於いて次々と制定され、令和5年3月30日現在、36都道府県17区340市92町4村、計489自治体で手話言語条例が制定されています。全国手話言語市区長会は622市区長の入会があり、兵庫はすべての市（29市）が正会員として加入、準会員は13町村となっており多可町と猪名川町が加入しております。

デフスポーツに関しては、2023年5月に第24回デフリンピック競技大会がブラジルで開催され日本からも選手団を派遣したこと。また、2022年9月にオーストリアのウィーンで開かれたICSD総会にて、東京が第25回デフリンピック競技大会の開催地に正式決定されたことがあげられます。

旧優生保護法を巡る裁判は、2022年5月に全国各地の優生裁判支援団体が結束し優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡協議会（優生連）が発足しました。全国各地の裁判支援や10.25全国集会や院内集会を開催しています。なお、地方裁判では逆転勝訴が続いているにもかかわらず、国は判決を認めず上告を続けており、引き続き、国をはじめ国会議員の働きかけの継続及び世論を動かす運動を継続していきながら早期の全面解決をめざしていきます。

公一 聴覚障害者の福祉向上のための事業

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

1. 手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

(1) 手話奉仕員養成事業講師講習会（宝塚会場）

宝塚会場

ア. 開催期間：基礎編 令和4年5月16日（月）～令和4年11月7日（月）全15回

イ. 開催場所：宝塚福祉コミュニティプラザぷらざこむ1

ウ. 受講人数：29名（ろう者14名、聞こえる人15名）【修了者29名】

手話奉仕員養成事業講師講習会（神戸会場）

神戸会場

ア. 開催期間：入門編 令和5年2月8日（水）～令和5年4月19日（水）の内12回（全15回）

イ. 開催場所：神戸市障害者福祉センター

ウ. 受講人数：24名（ろう者14名、聞こえる人10名）【修了者244名】

(2) 手話通訳者養成事業講師研修会

ア. 開催期間：手話通訳Ⅰ 令和4年度は中止

2. 手話学習会

(1) 手話対策部学習会

県内の手話対策部長や関係者が集い、学習や情報・意見交換を行うと共に今後の運動に結びつけていく。

ア. 開催日時：令和4年9月11日（日）

イ. 開催場所：神戸市福祉障害者センター

ウ. 参加人数：14名

エ. 情報意見交換「意思疎通支援事業（養成・派遣）、手話検定について」

3. 講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

(1) 内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座（実技、講義）、手話通訳者現任研修会、手話言語条例、兵庫県の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動、相談支援研修会など

(2) 派遣回数 775回（兵庫県委託事業を除く）

小学校、中学校、高等学校9回、大学・短大・専門学校94回、奉仕員養成（実技）20回、通訳者養成262回、奉仕員養成（講義）32回、通訳者養成（講義）43回、レベルアップ講座等 奉仕員実技53回/講義8回、通訳40回、統一試験対策等43回、現任研修会42回、講師養成研修32件、学習会25回、講演・シンポジウム11回、要約筆記者養成（講義）10回、中途失聴者・難聴者関係10回、その他3回

(3) 講師

4. 手話通訳認定事業

(1) 手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

ア. 開催日時：令和5年2月25日（土）9時半～12時

イ. 開催場所：中央区生活文化センター

ウ. 受験者数：3名

エ. 合格者数：0名

5. 手話通訳者派遣事業

(1) 認定手話通訳者派遣

ア. 派遣回数：478件

(2) 認定手話通訳者研修会

第1回研修会

- ・日 時：令和5年3月29日
- ・場 所：兵庫県庁
- ・出席者：14名
- ・内 容：議会における手話通訳について

6. ろうあ兵庫

令和4年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、当法人として重点的に取り組んでいる事項を主にトップページに掲載し、運動面や事業面において会員に広く知っていただくことを念頭に編集しました。

主な内容

4月号 第505号：優生保護法国際訴訟東京高等裁判所判決も勝訴！ 等（12頁）

5月号 第506号：第24回夏季デフリンピックを応援しよう！！ 等（12頁）

6月号 第507号：障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が成立等（12頁）

7月号 第508号：第70回全国ろうあ者大会が広島県にて3年ぶりに開催！ 等（12頁）

8月号 第509号：第39回兵庫県ろうあ者大会が3年ぶりに開催！ 等（12頁）

9月号 第510号：あらゆる「分野」の活動に社会参加促進を！ 等（12頁）

10月号 第511号：第56回全国ろうあ者体育大会 in 北海道 等（14頁）

11月号 第512号：「手話言語」にライトを当てよう「手話の国際デー」イベント開催 等（14頁）

12月号 第513号：第8回兵庫県ろうあ者討論集会開催 等（14頁）

1月号 第514号：新年のあいさつ、「手話言語の国際デー」ブルーライトアップシーン 等（14頁）

2月号 第515号：第49回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい開催 等（12頁）

3月号 第516号：1人でも多く1秒でも早く命を救う～福祉に強い看護師をめざして～ 等（12頁）

7. 調査研究事業

(1) 令和4年度の調査研修の内容は、民間企業における障害者雇用の状況、ハローワークの職業状況などが記載しています。労働問題や職場定着支援も含め誰もが働きやすい環境を整え、より良い制度の改善に繋がられるように地域で労働に関する取り組み、手話協力員の役割等の問題点、課題点を今後の活動の取り組み、災害対策に関する聴覚障害者関連施設が災害等の緊急時に協力し合える体制づくり

及びBCP（事業継続計画）と併せて考えていくために資料を配布しています。（労働対策部）

兵庫県41市町の障害者差別解消支援地域協議会（聴覚）に関する調査、重度障害者（児）日常生活用具給付等事業（情報・意思疎通支援用具）及び福祉のしおり等に関する調査、聴覚障害者対象日常生活用具給付及び障害基礎年金受給に関するアンケート調査報告、身体障害者相談員（聴覚）設置に関する調査を各地域ろうあ協会宛に配布しています。（福祉対策部）

（2）県内意思疎通支援事業実施の自治体に対する調査

兵庫県立聴覚障害者情報センターが行っている県内41市町の意思疎通支援事業アンケート集計のうち、手話通訳派遣を基に分析を行い、各市町に働きかけるポイントをまとめたものを各協会に配布しました。（手話対策部）

8. ろうあ相談員等研修事業（生活問題対策事業）

（1）生活問題対策部会議

第1回生活問題対策部会議

日 時：令和4年5月14日（土）午後1時半～3時

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター交流サロン室

出席者：8名（身障者相談員4名、福祉対策部4名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、新型コロナウイルス感染症による状況報告、各地域の情報交換、労働福祉2022開催について案内等

第2回生活問題対策部会議（開催中止）

日 時：令和4年9月3日（土）午後1時半～3時 出席人数が少ない為、延期

令和4年10月15日（土）午後1時半～3時 出席人数が少ない為、中止

第3回生活問題対策部会議

日 時：令和5年2月11日（土）午後1時半～3時

場 所：神戸市立障害者センター4階A会議室

出席者：10名（身障者相談員5名、福祉対策部5名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、聴覚障害者対象日常生活用具給付及び障害基礎年金受給実態調査アンケートに関しての報告、各地域の情報交換及び意見交換、その他

9. 手話普及啓発事業

（1）若者対象手話講座の実施

県内の高等学校、大学に在籍する学生を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】193回

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて等）

手話講座

（2）出前手話講座の実施

県内の施設、団体、企業等で勤める職員等を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】39回

【場所】企業、事業所、団体等

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて等）

手話講座、接客方法の体験等

(3) 親子向け（聴覚障害児等）手話教室「ひよこ」

聴覚障害児に手話等に触れながら、手話を通じたコミュニケーションを図る教室を開催する。

【開催回数】6回

(4) 講師スキルアップ講座の開催

- ・通訳Ⅲ指導レベルアップ講座4回
- ・通訳者養成へのスキルアップ（指導内容の確認・情報共有）3回
- ・スキルアップ ①基礎～通訳養成のスキルアップ2回 ②手話通訳者の心構え1回
③対人援助1回 ④聞き取り通訳指導1回

(5) 手話通訳者レベルアップ講座の開催

手話通訳者をめざす人の通訳レベルアップを図るための講座を開催しました。

令和4年10月24日（月）～11月27日（日）

5会場（神戸、尼崎、加古川、西脇、朝来）×各4回 計20回

(6) はじめての手話

県民に広く聴覚障害に対する理解を深め、手話に関心を持ってもらうための講座を開催しました。

【回数】15回

【場所】神戸市4、姫路市2、丹波市、淡路市、猪名川町、多可町、豊岡市、西宮市、赤穂市、明石市、
オンライン)

【内容】聴覚障害や手話についての講義、手話実技、グループ交流

10. たじま聴覚障害者センター

(1) 就労継続支援B型事業

令和4年度は、従来の通り障害者総合支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する障害者のうち、主に聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と請負作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施しました。

当事業所では高齢者が多いので、身体機能低下予防のためにコロナ禍でも感染防止対策をしながら、月2回の体操教室は継続して行いました。

県が障害者施設等において新型コロナウイルス感染症を早期に発見し事業継続を支援するため、従事者に対し抗原検査キットの無料配布を実施しており、これを利用して週2回全職員の感染有無の確認を行いました。

また、豊岡ろうあ協会役員会において、必要に応じて当事業所についての情報提供を行いました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

19名・延べ3,237名

エ. 作業内容

- ・請負作業：市役所庁舎日常清掃業務、ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、ランドセルの部分両面テープ貼りと手縫い工程作業、プラコップシール貼り作業
- ・自主作業：アルミ缶、段ボール、古紙回収・自主製品製作、販売

(2) 相談支援事業

令和4年度は、従来の通り豊岡市内在住の障害者、障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用等の立場に立った適切な指定計画相談支援事業を実施しました。また、強度行動支援者養成研修（実践研修）を修了し、行動障害支援体制加算が算定されるようにしました。

豊岡市障害者自立支援協議会に参画し、障害者の地域生活における課題解決に向けて取り組みを行っています。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 件数

- ・計画作成 58件
- ・モニタリング 105件
- ・その他相談10件

(3) 意思疎通支援事業

令和4年度は、従来の通り但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

新型コロナウイルス感染防止対策を万全に整えて実施した結果、無事に終えることができました。

ア. 豊岡市手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月21日（導入）、6月4日～3月4日（入門課程・全24回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：24名（基礎課程）

イ. 養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月11日～12月21日（入門課程・全21回）
- ・場所：やぶ市民交流広場
- ・受講者数：20名

ウ. 香美町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月3日～12月9日（基礎課程・全25回）
- ・場所：香住区中央公民館、香住文化会館
- ・受講者数：11名

エ. 新温泉町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月23日～11月24日（入門課程・全21回）
- ・場所：浜坂多目的集会施設
- ・受講者数：8名

オ. 豊岡市要約筆記者派遣事業

- ・派遣実績：38件

カ. 豊岡市登録手話通訳者現任研修

- ・日程：7月29日、9月30日、10月21日、11月18日、12月9日（全5回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：延べ38名

11. はりまふくろうの家

令和4年度は、障害者総合支援法の就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害

者のうち、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行いました。

姫路市が進める65歳以上の障害者を介護保険サービスに移行させる問題について、令和3年4月より65歳以上の利用者は0名のままになっています。きょうされん兵庫支部からも状況確認や視察などあり、要望書も提出されたが、依然として介護保険サービスに移行させる方向であるとの回答が姫路市よりありました。現在は、姫路しらすぎ特別支援学校を卒業された2名、他事業所から移られた2名、聴覚障害1名が増えたのですが、知的障害・精神障害などの利用契約が増加している状況です。コロナ禍のため、例会や行事等が相次いで中止になりましたが、例年通り就労継続支援A型事業所2ヶ所、聴覚特別支援学校、ヘルパー事業所や、姫路作業所連絡会の市役所ロビー（はーとふるSHOP）出店を続けており、収益は大幅に減ることなく維持することができました。3年振りの開催となった「ひめされんまつり」では日頃販売しているお弁当とは少し違うおにぎりを販売。好評いただきました。

(1) 日時 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

(2) 場所 姫路市東延末2-51 中川ビル1F 事業所内・外

(3) 定員・利用実績 18名・延べ1,431名

(4) 作業内容

ア. 請負作業：箸入れ、素麺の箱折り、商品袋詰め等

イ. 自主作業：おにぎり・お弁当、お菓子、畑作業

月・水・金曜日はA型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビー（2～3回/月）にて、姫路作業所連絡会の加盟事業所としてははーとふるSHOPで販売しており、ほぼ完売しています。

2年程前より姫路聴覚特別支援学校等からお弁当を今でも継続してご注文を頂いております。

(5) 年間行事

講習「交通ルールについて」、節分、忘年会、バス旅行、避難訓練

12. にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、平成26年4月に開所。聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供していました。また、当事業所に通う仲間たちが共通するコミュニケーションである「手話」を通して、共に学び、支え合う場として活動してしました。またトライやるウィーク（西宮市立深津中学校と甲陵中学校と浜脇中学校）を通して、生徒さんと一緒に作業したり、手話を使って交流したり、楽しめました。

将棋が好きな利用者が集まり、毎木曜日に将棋交流をしました。

新型コロナウイルス感染予防の対策としては、手洗い・うがいを徹底し、体温などの管理、作業の時間短縮などの取り組みを続けています。

また、「熱中症対策について」と「水道について」の学習会を開催しました。利用者同士の交流を図るため、赤い羽根の歳末たすけあい募金の地域交流事業を活用してクリスマス会を行いました。また、兵庫県募金会のNHK歳末たすけあい助成金を活用して、利用者が高齢化に伴い、靴の履き替え時、休憩時や体調が急に悪くなった時に利用できる「ロビーベンチ」と転倒防止の為の安全な「椅子」を導入しました。

今後も利用者へ様々な情報提供を行い、また楽しんでいただけるような計画を立てていきたいと考えています。

ア. 日時（利用者時間）

月曜日～金曜日 10時～15時30分

イ. 場所

西宮市津門大筒町 9-17 シャトーファイブ大筒 101 号

ウ. 定員・利用実績

15名・延べ 1,956名

エ. 作業内容

請負作業：アイラブユーキーホルダー、シール貼り、封入作業 他

オ. 学習会

- ・7月：「熱中症対策についての学習
- ・12月：水道についての学習会

カ. その他

- ・12月：クリスマス会（利用者と職員のみ）
※社会福祉協議会の「歳末たすけあい募金」の補助

13. 尼崎聴覚障害者センター

(1) たつのころうあハウス（就労継続支援B型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱える聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。上半期、作業が少なく工賃も低迷していたが新しい取引先や施設外の作業が増え工賃が上がり下半期は例年よりアップした。平均工賃申請で昨年度とギリギリ同等でした。少しコロナも落ち着いてきたので、状況を見ながら外での活動を増やし、仲間たちも気分転換になり楽しむことができました。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（仲間の作業は10時～15時半）
土・日・祝の開所日あり（不定期）

イ. 場所

尼崎市立花町4-8-12

ウ. 定員・利用実績

20名・延べ 3,080名

エ. 作業内容

- ・請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・箱折・販売用セット・ネジ・新聞作業
- ・自主作業：自主製品製作（ポプリ・ルームスプレー）販売
- ・施設外：情報センター掃除・ポスティング・草抜き

オ. その他

- ・尼ウェルフェア（販売・啓発）
- ・日帰り旅行（神戸 atoa・姫路セントラルパーク）
- ・見学（甲子園歴史館・阿倍野防災センター）

(2) たつのこ工房（地域活動支援センター）

感染防止対策に毎日出勤前に検温記録・アルコール消毒・マスク着用をしています。

土曜・日曜の営業は休業。週2回（火・金）たつのこどん店を開き、今年に入ってからお客様も少しずつ増えて活気が少しずつ戻ってきているように感じます。2020年6月より HACCP の義務化

より飲食店・製麺に関する衛生管理計画の作成・会議を随時開き、感染対策や衛生管理等の見直しをしました。事業所のミニパンフレットを作り、地元の手話サークルや尼うえるフェア等で情報を発信していきます。月1回レクリエーションでは利用者たちの希望を聞き、料理や気分転換に外出や買い物をしました。本年もお花見もでき、とても喜ばれました。来年度も利用者の要望を引き出し、計画したいと思います。

利用者も高齢化し、身体面に低下がみられます。地域包括支援センターにつなぎ、介護保険のサービスを利用する利用者も増えてきました。引き続き利用者の生活面や栄養面を気に向け、必要時は多職種と連携しながら支援していきます。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（中間の作業は10時～16時）

イ. 場所

尼崎市立花町2-6-23

ウ. 定員・利用実績

14名・延べ1,591名

エ. 作業内容

請負作業：ダツタンそば茶袋詰め入れ／乾燥系こんにゃく袋詰め入れ

自主作業：うどん製造・販売/マスク作り

オ. その他

- ・地元の手話サークルに参加し、会員の皆さんと交流
- ・レクリエーション（料理・お花見・スポーツ）
- ・尼ウェルフェア（販売・啓発）
- ・日帰り旅行（神戸 atoa・姫路セントラルパーク）
- ・見学（阿倍野防災センター）

公一2 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第34条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行いました。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通1-1-1 神戸市立灘区民ホール2F

開館日及び時間 火、水、木、金、土 午前9時～午後6時

1. 意思疎通支援事業

(1) 手話通訳者養成研修事業

ア. 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施しました。

・通訳Ⅰ

日時：4月14日（木）～1月19日（木）全36回

開催地：伊丹市

受講者：13名（うち修了者11名）

・通訳Ⅱ

日時：4月15日（金）～12月23日（金）全34回

開催地：三木市

受講者：11名（うち修了者10名）

・通訳Ⅲ

日時：5月17日（火）～8月23日（火）全11回

開催地：川西市

受講者：15名（うち修了者15名）

【強化事業】

・通訳Ⅱ

日時：4月11日（月）～12月26日（月）全34回

開催地：宍粟市

受講者：2名（うち修了者2名）

・通訳Ⅲ

日時：8月20日（土）～11月12日（土）全11回

開催地：豊岡市

受講者：9名（うち修了者6名）

・スキルアップ講座

日時：2月8日（水）～3月29日（水）全11回

開催地：加古川市

受講者：20名

イ. 兵庫県手話通訳者認定試験

手話通訳者全国統一試験を兵庫県手話通訳者認定試験と位置づけて実施した。

実施日時：令和4年12月 3日（土） 会場：兵庫県中央労働センター

合否発表：令和5年 3月7日（火）

兵庫県	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率
	94名	2名	92名	17名	18.48%
全国	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率
	1,667名	132名	1,535名	281名	18.31%

試験委員	採点委員	要員数
5名	4名	12名

(2) 要約筆記者養成

ア. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに基づく要約筆記者養成講座パソコンコース及び要約筆記者養成講座（各市町主催の講座を含む）修了者対象にフォローアップ講座を実施した。また聴覚障害者情報文化センター主催の要約筆記者指導者養成研修に受講者5名を推薦した。

- 要約筆記者養成講座パソコンコース

日 時：5月15日（日）～12月4日（日） 回数44回（1日2コマ）

受講者数（修了者）：6名（5名）

会 場：宍粟防災センター

- 要約筆記フォローアップ講座

日 時：手書き 1月7日、28日 パソコン 1月14日、2月4日（手書き・PC各2回）

受講者数：手書き20名&パソコン44名

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

- 要約筆記者指導者養成研修受講

日 時：ステップアップコース（手書き）：11/12～11/14 2日間

受講者数：1名（1名）

会 場：オンライン

- 要約筆記者指導者養成研修受講

日 時：基礎研修コース（PC）：①7/1～7/2 ②8/27～8/28

③10/7～10/8 ④11/26～11/27 8日間

受講者数：1名（1名）

会 場：①③オンライン②④全国障害者総合福祉センター（東京都）

イ. 手話通訳者・要約筆記者養成強化事業（要約筆記）

要約筆記者養成カリキュラムに基づく要約筆記者養成講座を実施した。

内 容	実施期間	回数	受講者数 (内：修了者)	場所
要約筆記者養成講座 パソコンコース	5/12～1/12(木)	30回 (3H/回)	12名 (12名)	加古川市

(1) 月ごとの通訳センター登録状況

ア. 手話通訳

兵庫県聴覚障害者協会認定手話通訳者（手話通訳士かつ協会認定を受けた者、協会認定のみの者）

手話通訳士有資格者、兵庫県認定手話通訳者（全国統一試験合格のみの者）

登録者総数：318名（令和5年3月31日現在）（単位：名）

地域名	協会認定	通訳士	県認定のみ	合計
神戸市	19	30	35	84
阪神南	8	7	23	38

阪神北	11	13	28	52
東播磨	5	8	26	39
北播磨	2	7	20	29
中播磨	9	3	15	27
西播磨	1	3	9	13
但馬	0	3	6	9
丹波	1	1	8	10
淡路	4	1	6	11
県外	0	1	5	6
合計	60	77	181	318

※通訳士の数の中に協会認定は含まない

イ. 要約筆記

登録者総数141名（令和5年3月31日現在）

全国統一要約筆記者認定試験合格者を登録（単位：名）

地域名	手書き	パソコン	両方	合計
神戸	6	7	12	25
阪神南	8	11	5	24
阪神北	8	18	12	38
東播磨	4	6	5	15
北播磨	2	6	5	13
中播磨	6	2	4	12
西播磨	1	0	0	1
但馬	2	2	0	4
丹波	1	4	1	6
淡路	2	1	0	3
合計	40	57	44	141

(2) 現任研修会

ア. 手話通訳

【更新カウント対象研修会】（コロナ禍のため現地参加とZoomを使った遠隔での参加も併用）

種別	日時	研修内容	受講者数	場所	時間
基本	2023/3/25(土)	[初任者研修] (統一試験合格者対象) 情報センターの概要・通訳センターの 運営・派遣事業の概要・報告書の書き 方・その他	12名	情報センター	2
	4/2(土) 4/9(土)	[基本研修] 登録者対象 情報センターの概要・ひょうご通訳セ ンターの運営・派遣事業の概要・報告 書の書き方・その他	63名 66名	情報センター Zoom	2

知識	5/18(水)	「なかまとともに働く」 講師:濱崎明奈氏	64名	情報センター Zoom	2
	6/23(木)	「なかまとの交流」	21名	情報センター Zoom	2
技術	6/4(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	11名 7名	Zoom 情報センター	2
	7/2(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	9名 6名	Zoom 情報センター	2
	7/7(木) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	10名 7名	Zoom 情報センター	2
	7/16(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	7名 7名	Zoom 情報センター	2
	7/23(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	10名 9名	Zoom 情報センター	2
	7/30(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	10名 7名	Zoom 情報センター	2
	8/6(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	5名 7名	Zoom 情報センター	2
	8/13(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	6名 7名	Zoom 情報センター	2
	8/20(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	10名 7名	Zoom 情報センター	2
	8/27(土) 午前・午後	「先輩通訳者から学ぶ」	6名 10名	Zoom 情報センター	2

イ. 要約筆記

種別	日時	研修内容	受講者数	場所	時間
基本	4/16(土)	派遣事業のオリエンテーション/ 機 材設営実習/筆記・入力実習	28名	Zoom	5
	4/21(木)		28名	情報センター	5
知識	7/6(水)	県下の難聴事業・意思疎通支援事業 の状況を知る	31名	Zoom 情報センター	3
	9/14(水)	要約筆記者としての対応を考える～ ノートテイク現場を中心に～	28名	Zoom	3
技術	5/25(土)	少人数制オンライン研修 (テーマ:模擬現場実習「難聴者の 体験談と座談会」の情報保障)	手書き2名 PC6名	Zoom 情報センター	3
	6/11(木)		手書き4名 PC7名		3

	6/22 (土)		手書き3名 PC5名		3
	8/13 (土)	伝えたつもりになっていませんか? ～体験編～	手書き6名 PC16名	Zoom 情報センター	3.5
	10/11 (火)	現場実習 「Google活用講座」の情報 保障と振り返り	PC4名 手書き4名	情報センター	3.5
	3/23 (木)	情報保障者のためのZoom講座	21名 (他、難聴者3名)	情報センター	3
その他	5/26 (木)	パソコン要約筆記者練習会 (登録者の他、要約筆記者養成講座 パソコンコース修了者も対象に実 施)	7名	Zoom	2.5
	7/28 (木)		7名	Zoom	2.5
	9/29 (木)		13名	Zoom	2.5
	11/24 (木)		11名	Zoom	2.5

ウ. 手話通訳・要約筆記合同

種別	日時	研修内容	受講者数			場所	時間
			手話	要約	両方		
知識	4/2 (土)	司法一般	64	20	6	情報センターZoom	2

(3) 兵庫県公費派遣

ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	7	9	5	5	4	6	5	2	4	5	4	60
人数	8	17	24	11	13	8	10	10	5	14	12	7	139

※キャンセル(2件)を含む

イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	7	12	8	12	6	6	7	5	7	8	9	92
人数	18	25	38	23	38	19	18	22	12	21	21	29	284

※キャンセル(5件)を含む

(4) 市町村公費広域派遣調整

ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	42	43	62	58	54	58	57	60	65	58	54	56	667
人数	53	50	75	68	84	77	63	80	75	64	68	67	824

※内、県外広域派遣による差額補填件数58件

※キャンセル(47件)含む

イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	9	9	7	17	23	16	17	26	26	25	22	32	229
人数	12	15	17	32	50	27	33	55	57	46	51	61	456

※内、県外広域派遣による差額補填件数1件

※キャンセル（6件）を含む

(5) 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮

ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	4	5	4	5	9	6	10	7	6	10	9	76
人数	2	12	14	6	11	21	13	19	18	15	26	21	178

※キャンセル（6件）含む

イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	2	2	1	2	3	4	3	2	2	2	2	26
人数	2	7	4	3	8	9	12	8	6	6	8	8	81

※キャンセルなし

ウ. 内容別件数

	手話		要約筆記		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
医療	393	398	48	51	441	449
権利義務	10	15	4	8	14	23
福祉	6	13			6	13
労働	13	12	10	15	23	27
住居	2	2			2	2
司法					0	0
教育	50	83	3	4	53	87
育児	1	2			1	2
生活	81	100	1	1	82	101
生涯教育	7	13	2	3	9	16
社会活動	98	180	44	70	142	250
大会			113	300	113	300
難聴者の会			4	4	4	4
その他	6	6			6	6
合計	667	824	229	456	896	1,280

工. 依頼元別件数

	市町名	手話通訳		要約筆記		地域計			市町名	手話通訳		要約筆記		地域計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数			件数	人数	件数	人数	件数	人数
阪神南	神戸市	18	20	1	1	19	21	中播磨	姫路市	6	6			15	16
	尼崎市	52	55	10	13	104	125		神河町						
	西宮市	26	36	16	21				市川町						
	芦屋市								福崎町	7	8	2	2		
阪神北	伊丹市	6	11	10	14			74	87	西播磨	相生市	7	16	2	8
	宝塚市	11	11			たつの市	22				26	9	26		
	川西市	4	4	4	7	赤穂市	85				122	3	10		
	三田市	39	40			宍粟市	32				34	51	59		
	猪名川町					太子町	1				1				
	東播磨	明石市	41	39	7	7	130				153	但馬	上郡町	1	2
加古川市		19	20	9	11	佐用町		7	8	1			3		
高砂市		20	20	11	14	豊岡市		14	14	27			35		
稲美町		2	2			養父市		6	7						
播磨町		2	3			朝来市		4	10	2			8		
淡路3市		17	35	2	2	香美町		2	4						
北播磨		西脇市	9	13	14	25		178	252	丹波			新温泉町	24	24
	三木市	15	16	37	71	丹波篠山市	6				11	1	3		
	小野市	12	16	3	4	丹波市	13				18				
	加西市	18	26			県外	52				70	1	1		
	加東市	44	49	3	5	遠隔通訳	0				0	0	0		
	多可町	23	27			合計	667				824	229	456		
														896	280

検診

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆記者、聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施した。

ア. けいわん検診実施状況

①神戸会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

7月1日（金）10：00～15：30 受診者36名

7月5日（火）10：00～15：30 受診者33名

②高砂会場：高砂市ユースアイ福祉交流センター

7月7日（木）11：00～16：00 受診者33名

③丹波篠山会場：丹波市春日住民センター

6月28日（火）13：00～16：30 受診者20名

④川西会場：キセラ川西プラザ

9月22日（木）10：00～12：30 受診者29名

イ. 検診結果

判定結果	人数
A： 健常期	61
B1：疲労期	69
B2：初期	19
B3：顕性期	2
C： 重症・遷延期	0
※棄権者	0
計	151

ウ. 健康学習会

日 時：2月25日（土）10：00～12：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内 容：「心も体もいきいきと活動できるために」通訳者の疲労特性とストレスコントロール」

講師 大阪社会医学研究所顧問 重田博正氏

対象：登録手話通訳者・要約筆記者、聴覚障害者関係事業所職員、関係団体の聴覚障害者や職員

出席者：50名

(7) 各担当者会議、研修会

ア. コーディネーター研修会（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に開催した。

日時：10月20日（木）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内容：意思疎通支援事業実態調査の報告、情報交換（通訳者養成、認定試験、手話言語条例等）

出席者：52名（1県・23市町・6事業所）

イ. 意思疎通支援業務担当者会議（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催した。

日時：8月17日（水）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内容：遠隔通訳、統一試験、意思疎通支援担当者研修会報告、その他意見交換

出席者：59名（1県・26市町・8事業所）

ウ. 設置手話通訳者会議

日 時：①6月15日（水）②2月9日（木）13：30～16：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内 容：①オンラインにおける手話通訳者派遣 等

②講演「障害者権利条約総括初見を受けて」

出席者：①36名（32市町）②30名（県・25市町）

エ. 要約筆記コーディネーター情報交換会

日 時：①7月12日（木）②3月16日（） 13：30～16：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内 容：①遠隔要約筆記について、アーカイブ配信での要約筆記依頼への対応、要約

筆記派遣事業の周知方法等の意見交換 ②要約筆記者養成講座の開催方法、手書き要約筆記の消耗品の手配等

出席者：①22名（14市町・4団体） ②13名（12市町・1団体）

2. 相談支援事業

(1) ろうあ者・難聴者相談・移動相談

ア. 年間相談件数：70件（移動相談も含む）

イ. 相談内容

- ・情報格差が招くトラブル、病識の低さが招く課題 など
- ・制度内容の説明・手続き支援、求職支援など

ウ. 移動相談実施時に支援者対象企画の開催

- ・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（神河町）

日 程：10月14日（金）13:30～16:00

会 場：神河町神崎支庁舎 研修室

受講者：3名

- ・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（淡路市）

日 程：11月11日（金）13:30～16:00

会 場：淡路市役所 1号館2階 大会議室

受講者：6名

- ・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（小野市）

日 程：12月16日（金）13:30～16:00

会 場：小野市役所 会議室2-2

受講者：12名

(2) 聞こえの相談

ア. 年間相談件数：171件

イ. 相談内容

- ・きこえ、補聴器相談
（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、FM補聴器、人工内耳、APDなど）
- ・福祉機器の相談（高齢に伴う聴覚補償、会社内における聴覚補償 など）
- ・コミュニケーション（職場内、親子間、 など）
- ・生活相談（求職活動、福祉制度、日中活動 など）
- ・子どもの難聴について（難聴発覚後の療育、発音指導、学習支援、進路、補聴器、情報補償など）
- ・関係機関からの相談（難聴児者のケース相談、難聴者対象の事業実施について）
- ・弱視難聴者からの生活相談、人工内耳の相談など

(3) こころの相談

ア. 年間相談件数：のべ123件

イ. 相談内容

- ・発達障害（疑いも含める）、自分の親、子どもとの関係（コミュニケーションなど）
- ・悩みや不安の解消
- ・職場における人間関係（周囲の理解やコミュニケーションなど）
- ・就労支援事業所職員（姫路）から利用者に関する相談

- ・関係機関からの相談（就労支援事業所、支援学校など）

3. 中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業

(1) 地域会場

- ・日 時：4月9日、23日、5月14日（土）全3回 13:30~15:30
内 容：読話 講 師：ST 岡恵子氏
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター 受講者：11名
- ・日 時：6月25日、7月9日、23日（土）13:30~15:30
内 容：手話 講 師：庄司美絵氏
会 場：西宮市中央公民館 受講者：10名
- ・日 時：10月23日、11月6日、20日（土）全3回 13:30~15:30
内 容：手話 講 師：浅井直美氏
会 場：猪名川町日生公民館 受講者：28名
- ・日 時：11月19日、26日（土）全2回 13:00~15:00
内 容：手話 講 師：浅井直美氏
会 場：川西市総合センター 受講者：10名
- ・日 時：11月23日（水・祝）13:30~15:30
内 容：読話 講 師：ST 岡恵子氏
会 場：丹波篠山市民センター 受講者：6名
- ・日 時：1月15日（日）13:30~15:30
内 容：読話 講 師：ST 岡恵子氏
会 場：加東市社公民館 受講者：3名
- ・日 時：3月18日（土）13:30~15:30
内 容：読話 講 師：ST 上田月美氏
会 場：南あわじ市広田地区公民館 受講者：6名

(2) 難聴者のための手話教室

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

- ・手話入門
日 時：5月21日、6月11日、18日（土）全3回 13:30~15:30
講 師：石井加代子氏 受講者：4名
- ・初級水曜コース
日 時：7月6日、13日、8月3日、24日、9月7日（土）全5回 13:30~15:30
講 師：庄司美絵氏 受講者：6名
- ・初級土曜コース
日 時：7月2日、16日、30日、8月20日、9月3日（土）全5回 13:30~15:30
講 師：加藤めぐみ氏 受講者：4名
- ・中級水曜コース
日 時：10月5日、12日、11月2日、19日、12月7日（土）全5回 13:30~15:30
講 師：阪倉智永子氏 受講者：7名
- ・中級土曜コース
日 時：10月15日、22日、11月5日、12日、12月3日（土）全5回 13:30~15:30

講師：太田稔氏 受講者：7名

・上級コース

日時：1月14日、21日、28日、2月4日、18日（土）全5回 13:30～15:30

講師：仲光恵氏 受講者：9名

・上級受講者と講師交流会

日時：3月18日 13:30～15:30

4. ろうあ者社会生活教室

・日時：9月4日（日） 13:30～15:30

会場：アスピア明石

内容：女性セミナー「コーダ ～聞こえない親に育てられて～」

講師：尾中 友哉 氏（サイレントボイス代表）

参加者：83名

・日時：9月11日（日） 13:30～15:30

会場：神戸市立総合福祉センター第5会議室

内容：手話フォーラム「手話言語研究所って何？」

講師：繁益 陽介 氏（全国手話研修センター 手話言語研究所）

参加者：38名

・日時：1月28日（土） 13:30～16:00

会場：中央区文化センター

内容：ひょうご労働・福祉2021「医療現場と聴覚障害者（手話言語）について」

講師：新谷 絢子 氏（看護師、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン国内事業部）

参加者：30名

・日時：2月4日（土） 10:00～12:00

会場：アスピア明石

内容：こうれいしゃ講演会「ろう者は子ども産むのダメ？優生一劣性」

講師：橋詰 恭子 氏（淡路ふくろうの郷事務局長）

参加者：30名

・日時：2月5日（日） 13:30～16:00

会場：神戸市立総合福祉センター

内容：青年部&スポーツ部「青年部活動と国際経験を通して感じたこと&国際手話教室」

講師：岡本 麻佑 氏（一財）全日本ろうあ連盟青年部

参加者：35名（内オンライン9名）

・日時：2月18日（土） 14:00～16:00

会場：姫路市総合福祉会館

内容：第26回ろう教育学習会「ろう学校に於ける教育現場で思うこと」

講師：澤田 佳菜子 氏（鳥取県立聾学校教諭）

参加者：52名

5. 難聴者教室事業

（1）たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」

日時：10月29日（土） 14:00～15:30

会場：豊岡市民プラザ 市民活動室D

内 容：豊岡市出前講座 テーマ「風水害の話～いざという時のために～」、座談会
参加者：12名

(2) 手話歌を楽しもう

日 時：年間5回水曜 13:30～15:30

会 場：情報センター サロン

内 容：講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。
要約筆記配置。

参加者：延べ40名

(3) 読話サークル「ひまわり」

日 時：年間5回水曜 13:30～15:30

感染症対策のため、1回中止

会 場：情報センター サロン室

内 容：講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志が中心の集まり。要約筆記配置。

参加者：延べ13名

(4) 手芸サークル

日 時：毎月第4水曜 13:30～15:30

会 場：情報センター サロン室

講 師：中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。

製作品：パッチワーク、手芸小物品など

参加者：延べ24名

6. 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

(1) 中途失聴難聴事業推進委員会の実施

難聴・要約筆記の4団体（(特非)兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ）と、情報センターとで兵庫県内全域の難聴者福祉を考
えることが目的。今年度は、要約筆記検討会と合同で開催。

日程：8/20

内容：情報交換、課題共有

ア. 家庭部会

日 程：5/27、6/23、7/20、9/30、10/7、11/24、12/7、12/27、2/8、3/15

企 画：要約筆記の説明動画を制作。

概 要：要約筆記のパターンを整理し、主催者に伝えるべき観点を話し合った上で、撮影に臨んだ。

撮影は計3日間。マリーホールとセンター会議室を利用した。

編集が完成し次第、情報センターYoutubeチャンネルに投稿する。

イ. 社会生活部会

日 程：6/17、7/15、8/26、10/6、11/4、12/1、12/9、1/26、2/9、3/9

内 容：①県聴連の製作物への協力

県受託事業「障害者自助力（防災意識）強化推進事業」、リーフレットの作成

②神戸大学「ミュージアムインクルージョンプロジェクト」への協力

12/9 明石市立文化博物館 訪問（難聴者4名、聴者6名）

③取り組み

・Google map の作成

・ピクトグラム「日本語字幕」について

ウ. 労働部会

日 程：6/25、7/23、8/16、8/27、10/22、11/12、12/10、12/26、
1/14、2/25、3/4、3/11

訪 問：労働局 8/16（聴覚障害者3名、聴者4名）

学習会：部内学習会 8/27「障害者雇用の除外率制度とは」

企 画：第4回 労働懇談会

内 容：講演「聴覚所会者を取り巻く雇用環境や支援環境について」

zoom で実施し、会場参加と youtube live で限定公開。第2部は会場の様子を配信。

日 時：3月11日（土）13：00～16：00

場 所：情報センター 全室

(2) 聴覚障害者文化祭

感染症対策のため、中止

(3) 聞こえの懇談会

中途失聴・難聴者、聞こえに悩む人々を対象に、聞こえに関する情報提供、仲間の存在を知ること、精神的なリハビリテーション（障害の受容）等を通して、耳の不自由を克服して豊かな人生を過ごせるよう相互交流を図ることを目的に、県下2か所で実施した。

ア. 丹波篠山市

日 時：9月10日（土）13：00～16：00

会 場：丹波篠山市四季の森生涯学習センター 東館

内 容：難聴者の体験談・補聴器や聞こえについての相談会

講 師：中川良雄氏（NPO法人まちづくり福祉推進ネット） 参加者：15名

イ. 加東市

日 時：11月20日（日）13：00～16：00

会 場：加東市 社公民館

内 容：難聴者の体験談・補聴器や聞こえについての相談会

講 師：中川良雄氏（NPO法人まちづくり福祉推進ネット） 参加者：19名

(4) ふれあいサロン

感染症対策のため中止

(5) 聴覚障害児とママ&パパ交流会

日 時：11月19日（土）12：45～15：30

会 場：オンライン+兵庫県立聴覚障害者情報センター研修室

内 容：講演①「聞こえない保護者の立場から」講演②「聞こえるきょうだい・友達との関係」

講 師：岩本千尋氏、藤木和子氏（聞こえないきょうだいをもつ SODA の会 代表）

申込者：60名（会場内視聴：5名）

7. 聴覚障害者災害対応訓練事業

感染症対策のため中止

8. 聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しました。

(登録件数 お知らせ情報：9,875件 緊急情報：13,606件)

9. 情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者への情報保障に必要な、ヒアリングループ（磁気誘導ループ）、OHC、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター、要約筆記表示用パソコン等の情報機器の貸出を行った。

10. 字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入り映像作品及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。

任期満了作品の処分と新規作品の追加作業を実施しました。（年間貸出し本数：48本）

11. IT機器活用研修事業

(1) パソコン相談

聴覚障害者向けにパソコン相談を開催した。

ア. パソコン相談（平日）

日 時：随時

場 所：情報センター情報機器利用室

対応者：職員

件 数：38件

イ. パソコン相談（土曜）

日 時：毎月1回、第3土曜日を基本に調整（※コロナで変更。緊急対応あり）

(5/21、6/4、7/16、9/17、10/1、11/12、1/21)

場 所：情報センター情報機器利用室

対応者：PC相談員

件 数：21件

ウ. 但馬地域パソコン相談

日 時：第2土曜日、第4土曜日を基本に調整

(13:00～17:00予約制) (6/25、7/23、8/20、9/17、10/22、12/3)

場 所：豊岡健康福祉センター

対応者：PC聴覚障害者相談員

件 数：8件

エ. パソコン・スマートフォン相談会・IT相談会（予約制・個別対応）

日時	内容	参加者数	場所
7/23(土) 10:30～12:00	無料体験会 スマホ・タブレット・Zoom	4名	情報センター IT室

他、相談会等は、新型コロナウイルスの影響により、中止

(2) IT 学校及びパソコン講習会

聴覚障害者及び情報保障者向けにIT学校及びPC講習会を実施した。

日時	内容	参加者数	場所
6/4、11、18、7/2、9、 7/16、30、8/6(土) 13:30～15:30	なるほど！パソコン教室（前期）	4名	情報センター IT室

9/10, 17, 10/8, 22, 11/5、12、19、 12/3(土) 13:30~15:30	なるほど!パソコン教室(後期)	4名	情報センター IT室
6/14(火) 13:30~15:30	IT学校 第52講 「インターネット安全講座」 だまされない!インターネット・メールの使い方	24名	あすてっぴ KOBE セミナー室1
8/20(土) 13:30~15:30	IT学校 第53講 「キャッシュレスって何??」	7名	情報センター 会議室
8/27(土) 13:30~15:30	IT学校 第54講 「ITと災害情報」(遠隔講座)	8名 8名	1.情報センター会議室 2.洲本市健康福祉館
9/3(土) 13:30~15:30	IT学校 第55講 「音声認識アプリを体験してみよう!」	23名	情報センター 会議室・IT室
9/17(土) 13:30~15:30	IT学校 第56講 「生活に役立つスマホの使い方」	10名	情報センター 会議室
10/11(火) 13:30~15:30	IT学校 第57講 「Google活用講座」	10名	情報センター会議室

(3) 聞こえる人向けIT講座及び研修会を実施した。

11/8, 15, 22(火) 10:30~16:00	「ITサポーター2期生 養成講座 iPhone 基礎編」	8名	情報センター会議室 あすてっぴ KOBE
5/28, 6/25, 7/23 8/27, 9/24(土)、 13:30~15:30	ITサポーター1期生 研修会 OBS、YouTube、Zoom等の応用機能、 遠隔操作に必要な知識などを学習	8名	情報センター 会議室・IT室
2/16(木) 13:30~16:30	IT学校 第58講 「手話通訳者のためのZoom基礎講座」	20名	情報センター 会議室・IT室
3/23(水) 13:30~16:30	IT学校 第59講 「要約筆記者のためのZoom基礎講座」	35名	情報センター 会議室・IT室

(4) ITサポーター活動 遠隔講座開催協力及び課題検証報告会

当センター登録のITサポーターの協力を得て、遠隔講座やリアルタイム配信などを行った。

各日、終了後には課題検証報告会を開催し、今後につなぐための操作マニュアル作成等も進めた。

8/10(水)、27(土) 10:00~18:00	聴覚障害者向けIT学校 遠隔設営、配信及び課題検証報告会	10名	洲本市健康福祉館 情報センター会議室
11/17(木)、 18(金) 10:00~18:00	行政職員向け防災学習会 オンライン配信及び課題検証報告会	10名	情報センター 会議室・IT室
2/24(金)、25(土) 10:00~18:00	聴覚障害者向け防災学習会 オンライン配信及び課題検証報告会	10名	情報センター 会議室・IT室

(5) ICT指導者養成講座

障害者特性を理解しIT機器等の活用方法を指導できる人材の養成を目的に、指導者養成講座を実施した。

日時	内容	参加者数	場所
10/8、15、22、 11/5、12、19（土） 13：30～16：30	ICT指導者養成講座 「Zoom レベルアップ講座」	6名	神戸市産業振興センター ソフトウェア研修室
12/3、10、17（土） 13：30～16：30	ICT指導者養成講座 指導時に役立つワーホールの使い方	6名	情報センター 会議室

収一 1 出版物等普及事業

1. 出版事業

令和4年度は、行事も少しずつ開催できるようになり、出張販売等で新刊の書籍が多く売れました。

また、講座が通常通り開催となった地域が多く、奉仕員テキストは昨年度と比べ、約170冊の売上増となりました。また、兵聴協ホームページからの注文もあり、県外の方から国際手話ハンドブックの注文が増えてきています。今後も引き続き兵聴協独自出版物の普及に力を入れ、書籍の販売を伸ばしたいと思います。

令和4年度書籍売上（冊数）ベスト15（協会への預売・売掛も含む）令和5年3月31日時点

順位	品名	売上数	売上額
1	奉仕員テキスト	617	2,036,100
2	新型コロナウイルス感染症標準手話ハンドブック	420	231,000
3	新しい手話 2022/2023	391	387,090
4	防災災害関連用語標準手話ハンドブック	301	164,450
5	平和・軍事関連用語標準手話ハンドブック	280	154,000
6	MIMI176	143	135,850
//	MIMI177	143	135,850
7	MIMI178	138	131,100
8	MIMI179	133	126,350
9	国に子どもを産む権利を奪われた人たち	82	16,400
10	通訳者講義テキスト改訂版	71	140,580
11	わたしたちの手話学習辞典Ⅰ	70	200,200
12	通訳Ⅰ 養成テキスト	54	166,320
13	国際手話ハンドブック第2巻	53	79,500
14	通訳Ⅱ 養成テキスト	42	129,360
15	国際手話ハンドブック第1巻	36	54,000

2. 事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害者および関係者向けのイベント等を企画・実施しました。

(1) 販売事業

要約筆記用OHPロール、補聴器電池、かきぼん、日聴紙バインダー

応援グッズ（モンベルポーチ、マスクングテープ、ステッカー、ピンバッジ等）非常食

(2) 全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」関連グッズ

クリアファイル、付箋、Tシャツ、プログラム

(3) 講演会・講座 等

スリランカ講演会

日程：令和4年10月28日（金）夜7時～9時

会場：神戸市中央区文化センター

テーマ：「研修で学んだこと、今後の目標」

講師：バスティアン・コーラララゲ・ディルシャン・カヴィンダ・ロドリゴ氏

1. ひょうご聴覚障害者介護支援センター

(1) 統括

ア. ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

- ・月1回のヘルパー会議時に行った研修会において知識を深めます。

ヘルパー会議や研修で行ったテーマ

- ・高齢者虐待防止法について
- ・感染症について ・個人情報保護法について
- ・認知症について
- ・食中毒予防について ・高齢者の栄養管理について

利用者（個人情報保護に基づき、個人情報特定されないように配慮）に対する悩みや支援内容の相談・分析を行いました。また、外部講師を招いて「栄養について」の研修を受け、高齢者に必要な栄養について確認ができました。利用者宅での調理支援のためのコツなどヘルパーも興味を持って参加できました。サービス提供責任者が外部研修に参加し他事業所との交流を行いました。

居宅介護支援事業所（ケアマネ）の新規依頼も増え、ケアマネが1人で担当できる人数を超えての依頼があったため、ケアマネを1人体制から、2人体制（常勤換算では1.5）として対応しました。利用者の要介護度も重度化し、医療的ケアを必要とするケース、自宅で看取りを希望するケースなども増えてきたため、今までよりも医療との連携を図りながら対応しました。必要な研修（高齢者虐待防止法等）だけではなく、圏域で開催されている研修などにも積極的に参加し、交流等も行いました。に加えて、オンライン研修や実技研修にも参加しました。

イ. 事業内容の検討

- ・ヘルパー依頼があっても登録ヘルパーの減少や他の仕事と兼務により依頼を受けることができないことがありました。登録ヘルパーの増員、利用者拡充の為、介護支援センターのパンフレットを新たに作成しました。関係各所へ配布していきます。

(2) 事業内容

地域生活支援事業の移動支援のニーズが高く、現在、神戸市・三木市・明石市・尼崎市のみですが、今後も依頼があれば派遣範囲を広げていく予定です。

ア. 介護保険法

- ・居宅介護支援事業（CMによるケアプラン作成・認定調査）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問サービス（ホームヘルパーの派遣）

イ. 障害者総合支援法

- ・居宅介護事業
- ・同行援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・行動援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・移動支援（地域生活支援事業） 対象市…神戸市、三木市、尼崎市

(3) 運営会議

1ヶ月に1回担当理事・サービス提供責任者・ケアマネ及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合いました。

(4) 居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣（令和5年3月末現在）

居宅介護支援事業所（ケアマネ）の担当利用者数は50名（介護予防含む）の居宅サービス計画書（ケアプラン）作成・相談（要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等）や問い合わせに対応しながらそ

それぞれの在宅支援に貢献しました。特に認知症のある利用者の対応の時には、当センターだけでは対応が困難です。緊急で相談や支援の体制がとれるようにネットワークを作り、連携を図りました。利用者の居住する地域によっても制度が異なるため、確認をしながら進めました。必要に応じて、地域のろうあ協会や、相談員、インフォーマルな支援者にもチームに入っただき、情報交換、情報共有を行ったことにより支援がスムーズになったこともありました。今後も利用者が安心して、住み慣れた地域で生活ができるように支援していきたいと思っています。

ホームヘルパー派遣は、訪問介護事業・介護予防訪問サービス、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動支援事業として県全域を対象にホームヘルパーを派遣しました。今後も利用者の増加に努めます。

訪問介護については、土日祝日の利用希望がありますが、すべてに対応することが困難です。登録ヘルパーから土日祝日の介護センターへの連絡体制等について意見もあり対策を講じて対応していますが、登録ヘルパーだけの対応は難しく土日祝日は職員の訪問時間も増えています。

移動支援についてはコロナ感染拡大防止の為にイベントの中止や、ろうあ協会の行事などが減り支援時間は減りましたが、少しずつ行事も行われるようになっていく為、参加を促し仲間たちとの交流を増やしていくよう支援していきます。

ア. 利用地域（令和5年3月末現在）

神戸市、尼崎市、西宮市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、多可町、伊丹市、川西市、加古川市

イ. 介護保険利用者数（令和5年3月末現在）※訪問介護事業

要支援1：2名（令和4年度 3名）
要支援2：0名（令和4年度 3名）
要介護1：13名（令和4年度 12名）
要介護2：4名（令和4年度 3名）
要介護3：1名（令和4年度 1名）
要介護4：1名（令和4年度 2名）
要介護5：1名（令和4年度 1名）
合計 22名（令和4年度 25名）

介護保険利用者数（令和5年3月末現在）※居宅介護事業（ケアマネ）

要支援1：9名（令和4年度 4名）
要支援2：4名（令和4年度 5名）
要介護1：16名（令和4年度 11名）
要介護2：11名（令和4年度 13名）
要介護3：4名（令和4年度 4名）
要介護4：5名（令和4年度 3名）
要介護5：1名（令和4年度 1名）
合計 50名（令和4年度 41名）

ウ. 障害サービス利用者数（令和5年3月末現在）※家事援助及び通院等介助

区分1：1名（令和4年度 1名）
区分2：2名（令和4年度 2名）
区分3：4名（令和4年度 3名）
区分4：0名（令和4年度 0名）
区分5：0名（令和4年度 0名）
区分6：0名（令和4年度 0名）

合 計 7名（令和4年度 6名）

移動支援サービス利用者（令和5年3月末現在）

※介護保険サービス及び障害サービスとの重複利用者も含む

神戸市：3名（令和4年度 1名） 三木市：1名（令和4年度 1名）

尼崎市：1名（令和4年度 1名）

エ. ブロック別利用者数（令和5年3月末現在）

・介護保険

阪神2名、神戸17名、東播2名、西播0名、北播0名、丹有0名、但馬1名 合計22名

・障害サービス（家事援助・通院介助）

阪神2名、神戸4名、東播0名、西播0名、北播1名、丹有0名、但馬0名 合計7名

・移動支援サービス

上記記載

オ. ヘルパー派遣時間

令和3年度 介護保険・・・4734時間53分

障害福祉支援・・・501時間30分

地域生活支援事業・・・193時間35分

令和4年度 介護保険・・・3904時間00分

障害福祉支援・・・628時間15分

地域生活支援事業・・・138時間25分

他ー1 会員・関係団体相互扶助事業

1. 青年部

(1) 総括

1. 3本柱の基本を作っていこう！

(仲間づくり)

2022年度は三大大行事のひとつである「第41回兵庫県ろうあ青年研究討論会」を事情により、中止いたしました。青年部長としての指導、(公社)兵庫県聴覚障害者協会青年部役員としてのフォローが足りず、仲間づくりの機会を失ってしまい、誠に申し訳ございません。

また、兵庫県ろうあ者新年大会兼成人お祝いのつどい in 尼崎に参加し、4名の新成人をお祝いしました。これまで新成人がどのように動いたらいいのかわからず戸惑うことがありましたが、リハーサルの実施及び、スライドを視て頂くことによってうまく動いていただくことができました。

(学習づくり)

役員として兵聴協幹部研修会や第13回西日本エリア幹部研修会に参加し、知識を深めました。

(要求づくり)

ふくろうカレンダーの購入を通してひょうご聴障ネットの運営に協力していきました。

2. ろうのこども達と関わろう！

新たな試みとして、12月にろう子どもふれあい企画を実施し、クリスマス会としてきこえないこどもと触れ合うことができました。こどもたちもプレゼントをもらえ、とても楽しそうでした。

また、子どもたちが楽しんでいる間は、保護者同士でも交流を深めていただきました。

3. 発信力を高めていこう！

ろうあ兵庫にて青年部の発信や各種行事のお知らせをしましたが、役員が少ないこともあり、Facebookの更新はできませんでした。来年度以降、SNS面の発信をどのように行うか検討していきます。

4. 外部団体と繋がろう！

N-Action ひょうごと共催で、元青年部常任委員の竹原寛子氏、古香氏、N-Action ひょうごの竹原哲章氏の3名によるトークセッションを開きました。最近は育児中の青年部員、N-Action ひょうご会員も多く「きこえる人、きこえない人の立場からの子育て」というテーマで、それぞれの子育て経験を視て(聴いて)、今後の参考とすることができました。

5. 兵聴協青年部創立50周年記念を祝う準備を進めよう！

特に準備を進めることはできませんでした。申し訳ありません。

(2) 事業経過報告

日程	内容	開催地	参加者数
令和4年			
4月16日	第11回(公社)兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神戸	10名
6月25日	第33回兵庫県ろうあヤングレクリエーション	三田	14名
9月23日	第41回兵庫県ろうあ青年研究討論会	芦屋	中止
11月23日	青年のすゝめ(N-Action ひょうご交流企画)	神戸/オンライン	15名
12月24日	ろう子どもふれあい企画	加古川	12名
令和5年			
2月6日	青年講座(社会生活教室 ※スポーツ部と共催)	神戸/オンライン(Zoom)	35名

2. 女性部

(1) 総括

2022年度は、第11回女性部定期総会・社会見学・兵庫県ろうあ女性のつどい&社会生活教室女性セミナー・女性部会をコロナウイルス感染症防止の対策をしながら開催しました。デフ女子会だけ、クラスター発生防止のため、残念ながら中止しました。ようやく、県、近畿、全国の各行事が開かれることで女性会員の皆様とお会いする機会が増え、対面の交流できて、活動の活発化につながり、とても嬉しく思い、対面交流の大切さを痛感しました。

ア. 第11回定期総会

女性部会委員45名のうち出席21名、委任24名でした。その中でも地元の行事で全員が委任のところがありました。

女性部会委員から、積極的な質問・意見があり、2021(令和3)年度総括報告・事業報告・収支決算報告すべて承認採決。2022(令和4)年度活動方針(案)・事業計画(案)・収支予算(案)はすべて賛成採決となりました。

イ. 社会見学

2021年度社会見学「竹中大工道具館」の企画が、コロナ感染増加により2回も開催中止になり、2022年度行事として5月8日(日)にやっと開催できた。建物を作るための色々な道具が展示されています。館内のガイドの説明を聞くことができましたが、参加人数が多く、それに見合った手話通訳を配置できなかったのが残念です。事前の下見や準備が大切だと反省しました。ね

ウ. 第52回近畿ろうあ女性フォーラム

3年ぶりに滋賀県草津市で7月10日(日)開催。2022年度から5つの分科会が3つになり、コロナ禍の中での活動、過ごし方、働き方の討論をしました。コロハラ(コロナハラスメント)があったり、逆にマスクをつけているので、身振り手振りでコミュニケーションの工夫をしてくれたり、健康→生きがい→お金を3本柱にして話し合ったり、大阪のワークライフ支援事業の実現が近畿各府県ではまだであったりなど、活発な討論があり、やはり顔を合わせたの集まりは表情も手話も豊かでした。

エ. 社会生活教室「女性セミナー」

9月4日(日)午前ウイズ明石801大学習室『コーダ～聞こえない親に育てられて～』の講演を尾中友哉氏(Silent Voice サイレントボイス代表)から頂きました。参加83名の大盛況でした。C=Children チルドレン(子ども)、O=of オブ(～の)、D=Deaf デフ(聞こえない)、A=adults アダルト(大人)⇒CODA コーダ(聞こえない親を持つ子ども)です。参加者から『コーダの話を直接に聞くのは初めてで知らなかったこともあった。手話ができていいなあだけではないのだとわかった。』『自分の子どもにあなたはコーダ?と聞いたら、そうかも。と言われて、子どもなりに苦労してた?と複雑な気持ちになったことを思い出した。尾中さんの話を聞いて良かった。』『時間が足りなくて「ヒゲの校長」の話が聞けなくて残念!!』と感想を頂きました

オ. 第41回兵庫県ろうあ女性のつどい

9月4日(日)午後、同じくウイズ明石801大学習室で、コロナ禍により中止が続いた兵庫県ろうあ女性のつどいを3年ぶりに開きました。庄崎隆志氏(office風の器主宰)より『演劇から学ぶ豊かな手話表現～ノンバーバルコミュニケーションで手話力UP』をお話し頂きました。参加者70名とこちらも大盛況でした!

カ. 第52回全国ろうあ女性集会

第50回京都、第51回秋田がコロナ禍で中止されて3年ぶりに伊勢市で対面型で開催された。式典では伊勢市長のホットな聴覚障害者への理解あるスピーチが好評。5つの分科会は久しぶりの活発で熱心な討論でした。交流会は三重県女性部と伊勢市女性部のユーモアある芝居に全員が笑い転げていました。記念講演「旧優生保護法裁判・大阪女児裁判」では大矢暹氏の話に参加者は目を赤くして熱心に聞いていました。涙を怒りに変え、人権を尊重する社会の実現のために自ら学び、行動を起こしていくことを学んだ3日間でした。全日本ろうあ連盟女性部では初めてのグッズ販売でポロシャツとトートバッグが好評でした。来年は茨城県水戸市です。

キ. 大学習会(近畿ろうあ連盟女性部)

高塚稔氏の『ろう防災士としての活動～多様な災害とコロナ禍から普段の取り組み活動について』の講演で、阪神淡路大震災での救援活動をきっかけに、建築設計だけの世界から福祉の世界へ入りました。救援の時にはわからないまま必死で動いていたが、聞こえない人のいのちを守るにはプロであること、勉強が必要であることを痛感したのが防災士資格をとったきっかけだそうです。魅力的な手話表現とともに具体的でわかりやすい防災への心構えをクイズ形式で、勉強になったと好評でした。

ク. 女性部会

2023年1月29日(日)神戸市立男女共同参画センター『あすてっぴ KOBE』で、各地域代表の女性部会委員16名(9協会)が集まり、2023年度行事に対する要望や意見を話し合いました。定期総会で述べたように、全員が欠席の協会がありました。『女性部会』は県下各ろうあ協会女性部の代表が地元で出た困り事や要望、次の企画への希望などを出していき、年間の行事や運営の承認・決定をしていく大事な集まりです。改めて女性部会委員について役員で見直しなどの話し合いが必要ではと思いました。

ケ. 第49全国ろうあ女性研修会

第47回広島、第48回神戸が同じくコロナ禍で開催されず、3年ぶりに愛知県刈谷市で「ろう宮大工として～私の生き方～」を渡辺健太氏の講演で開催されました。日本ではろうの宮大工は初めてです。失聴してからろう宮大工としての生き方を確立するまで、さまざまな壁や差別を受けたことにより、コミュニケーションが基本であること、ろう運動も大事であることを話して頂きました。現在は宮大工として自分の会社を設立して頑張っておられます。

(2) 事業経過報告

ア. 県女性部

4月17日(日)	第11回定期総会	神戸市勤労会館	21名
5月8日(日)	社会見学「竹中大工道具館」	神戸市	34名
9月4日(日)	午前 社会生活教室 2022年度女性セミナー	明石市	83名
9月4日(日)	午後 第41回兵庫県ろうあ女性のつどい	明石市	70名
1月29日(日)	女性部会	神戸あすてっぴ	17名
1月29日(日)	デフ女子会	中止	

近畿ろうあ連盟女性部

4月23日(土)	代議員会	大阪市立大淀コミュニティセンター	5名
6月26日(日)	座長・助言者・通訳者・記録者事前打合せ	草津市市民総合交流センター(キラリ草津)	2名
7月10日(日)	第52回近畿ろうあ女性フォーラム		

	草津市市民総合交流センター(キラリエ草津)	5名
11月26日(土) 大学習会	京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)	6名
全日本ろうあ連盟女性部		
9月30日(金)~10月2日(日)第52回全国ろうあ女性集会	三重県伊勢市	14名
1月28日(土) 第47回全国委員会	愛知県刈谷市中央生涯学習センター	1名
1月29日(日) 第49回全国ろうあ女性研修会	愛知県刈谷市中央生涯学習センター	1名

3. 高齢部

(1) 総括

ア. 社会見学 7月5日(火) 参加者30名 場所: 劇場型アクアリウム アトア神戸

バスが2台つながって走るポートループバスに乗り、10分ほどで到着。洞窟のような入口から入場しました。『アトア』は昨年11月に神戸港にオープンしたばかりの劇場型水族館で世界中の珍しい魚や海の生き物たちが幼想的な空間の水槽で暮らしていました。全体で八つに分かれていて、ネコザメやチンアナゴコーナー、赤い目アマガエルなど爬虫類コーナーがありました。途中には日本庭園のような空間でガラスでできた床の上を歩くコーナーがあり、ガラス床の下で綿鯉が泳いでいたり、プラネタリウムのような空間がありました。

イ. 第17回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会 11月3日(祝)

場所: アクアス加西 参加者55名

夏を思わせる良いお天気の中で年齢に関係なく、プレーしながら交流会を深めることが出来ました。アクアス加西での第17回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会を無事に終えること出来て良かったです。

ウ. 「社会生活教室」2022年度こうれいしゃ講演会 参加者30名

9月19日は台風接近の為、延期し、2月4日(土)にウイズ明石で開催しました。「ろう者は子どもを産むのダメ? - 劣性」テーマの講師大矢遅氏が都合により来られなくなり、橋詰恭子氏が手話で丁寧に分かりやすく話して頂きました。

エ. 9月19日の敬老会は台風接近の為に中止、旅行会は参加人数の目標に達しなかった為中止になりました。残念でした。来年度是非とも実施できるようにしたいと思います。

(2) 事業報告

4月16日(土)	第11回高齢部定期総会	神戸市勤労会館 (15名)
5月12日(土)	第1回役員会	明石 (7名)
6月4日(土)	組織部会議	兵庫県立聴覚障害者情報センター (2名)
7月5日(火)	2022年度社会見学	アトア神戸 (30名)
7月24日(日)	第1回5役会議	明石 (4名)
8月4日(土)	第2回役員会	明石 (7名)
9月19日(祝)	第36回兵庫県ろうあ者敬老会	長田区文化センター (中止)
9月24日(土)	第3回役員会	明石 (6名)
11月3日(祝)	第17回兵庫県ろうあ者グラウンドゴルフ大会	加西 (55名)
11月3日(祝)	第4回役員会	加西 (7名)
12月4日(土)	第5回役員会	明石 (4名)

12月10日(土)	組織部会議	兵庫県立聴覚障害者情報センター(2名)
2月4日(土)	第6回役員会	明石(4名)
2月4日(土)	2022年度こうれいしゃ講演会	ウイズ明石(30名)
2月17日(金)	1泊2日旅行会	中止
3月5日(日)	第7回役員会	明石(5名)

近畿

7月6日(水)	第1回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	大阪(2名)
9月10日(土)	第43回近畿ろうあ高齢者大会	滋賀(14名)
9月11日(日)	第33回GB競技大会&第13回GG競技大会	滋賀(14名)
11月12日(水)	第2回近畿ろうあ高齢部代議員会議	兵庫(2名)
11月12日(水)	第8回近畿ろうあ連盟高齢部幹部研修会	兵庫(7名)
	近畿ろうあ高齢者のつどい	大阪(14名)
3月8日(水)	第3回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	大阪(2名)

全国

10月6日(金)~9日(日)	第34回全国ろうあ高齢者大会&第36回ゲートボール競技大会 &第13回グラウンドゴルフ大会	千葉
12月17日(土)~18日(日)	第4回三専門部合同活動者研修会	兵庫
2月23日(木)~24日	第14回全国ろうあ高齢部代表研修交流会	広島

4. スポーツ部

(1) 令和4年度 総括報告

令和4年度は役員改正選挙により、新しい役員体制となりました。役員会は全8回行いました。現地に集まって会議したり、オンライン(zoom)を使っての会議も行いました。事務局に関しては、役員会の招集、議事録作成、行事に関する公文書作成などを行い、スポーツ部の運営に努めてまいりました。日頃LINEグループやメール等の情報交換、確認なども行い、第56回全国ろうあ者大会北海道の参加申込及び説明会を令和4年7月に初めて行いました。陸上、ボウリング、女子バレーの競技参加申込がありました。また第56回近畿ろうあ者体育大会もフットサル、ゲートボールの競技参加申込があり、スムーズに進められることができました。会計では限られた予算の中でやりくりを行い、無事処理できました。当部の行事では、第41回ろうあ者ソフトボール大会は雨天中止で残念でした。スポーツふれあい企画は、ラージ卓球を行い、楽しく交流できました。青年部行動企画は、全日本ろうあ連盟青年部中央委員の岡本麻佑氏が青年部活動と国際経験を講演いただき、大変有意義な内容で参考になりました。デフリンピック知名度向上、デフスポーツの普及、啓発等の取り組みとして、当部のInstagramを立ち上げました。企画や選手等の紹介、大会の様子などを発信し、デフスポーツと当県内の各協会と連携を図りながら実施しました。今後は、当部ホームページの立ち上げを参画しています。

(2) 令和3年度 事業経過報告

スポーツ部三大行事

ア. 第41兵庫県ろうあ者ソフトボール大会(雨天中止)

【日程】2022年11月20日(日)

【場所】三田市

イ. スポーツふれあい

【日程】2023年3月18日(日)

【場所】神戸市立総合福祉センター1階体育室

【内容】「ラージボール卓球をやります」

【参加】 18 名

ウ. 兵庫県ろうあ者社会生活教室（青年部合同企画）

【日程】 2023 年 2 月 5 日（日）

【場所】 アステップ KOBE セミナー室 1 + オンライン

【内容】 講演：「青年部活動と国際経験を通して感じたこと」 <<講師：岡本 麻佑氏>>

【参加】 32 名

(3) 近畿ろうあ者体育大会・全国ろうあ者体育大会等

ア. 第 49 回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議

【日程】 2022 年 5 月 8 日（日） 【場所】 奈良県

【参加競技】 ゲートボール、フットサル、テニス

イ. 「第 49 回近畿ろうあ者体育大会

【日程】 2022 年 5 月 21 日（土）～ 22 日（日）

【場所】 奈良県

【参加競技】 ゲートボール、フットサル、テニス

ウ. 第 56 回全国ろうあ者体育大会

【日程】 2022 年 9 月 15 日（木）～ 18 日（日）

【場所】 北海道・札幌市、恵庭市、千歳市、江別市、石狩市

【参加競技】 女子バレーボール、陸上、ボウリング

エ. 第 22 回全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会

【日程】 2022 年 6 月 5 日（日）

【場所】 京都府

【参加人数】 兵庫県男女選手別 各 10 名

(4). 国際

ア 第 24 回夏季デフリンピック競技大会【コロナウィルスの影響により日本代表団出場途中辞退】

【日程】 2022 年 5 月 1 日（日）～ 15 日（日）

【場所】 ブラジル/カシオスドル

【参加人数】 兵庫県から男子バレーボール競技 2 名、バトミントン競技 1 名

(5) 総会

第 11 回スポーツ部総会

【日程】 2022 年 4 月 17 日（日）

【場所】 神戸市勤労会館

【出席】 11 名（委任：17 名）

(6) 当部関連会議

日 程	事業名	開催地	役員参加数
5 月 6 日（金）	常任委員会	Zoom	（7 名）
6 月 4 日（土）	組織部会議	神戸	（2 名）
6 月 25 日（土）	常任委員会	姫路	（6 名）
7 月 16 日（土）	第 1 回幹部研修会	神戸	（6 名）
7 月 31 日（日）	常任委員会	神戸	（6 名）
9 月 3 日（土）	組織部会議	神戸	（2 名）
9 月 10 日（土）	常任委員会	三田	（7 名）
10 月 15 日（土）	中間報告監査会	神戸	（2 名）
10 月 22 日（土）	常任委員会	Zoom	（7 名）
12 月 6 日（火）	デフスポーツサポーター制度説明会（1）	Zoom	（1 名）
12 月 10 日（土）	組織部会議	神戸	（2 名）
12 月 10 日（土）	常任委員会	神戸	（7 名）
12 月 24 日（土）	行事調整委員会	神戸	（5 名）

1月15日(水)	デフスポーツサポーター制度説明会(2)	Zoom	(1名)
2月5日(日)	常任委員会	神戸	(7名)
2月25日(土)	第2回幹部研修会	神戸	(2名)
3月25日(日)	常任委員会	神戸	(5名)

5. 全国手話検定試験事業

(1) 全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。(5級～1級)

ア. 5級・4級試験の実施

日 程：令和4年10月8日(土)

会 場：兵庫県立のじぎく会館・姫路市総合福祉会館

受験者：5級：82名(神戸)10名(姫路)、4級：77名(神戸)27名(姫路)

イ. 3級・2級試験の実施

日 程：令和4年10月9日(日)

会 場：兵庫県立のじぎく会館・姫路市総合福祉会館

受験者：3級：81名(神戸)24名(姫路)、2級：34名(神戸)13名(姫路)

ウ. 準1級・1級試験の実施

日 程：令和4年10月15日(土)

会 場：神戸市立総合福祉センター

受験者：準1級23名(神戸)、1級21名(神戸)

エ. 団体受験の実施

2月4日(土)3級14名 会場：姫路聴覚特別支援学校

2月5日(日)5級2名、4級14名 会場：宍粟市防災センター

6. 第18回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時：令和4年10月1日(土)午前11時00分～午後3時00分

場 所：神戸市立灘区民ホール

2階兵庫県立聴覚障害者情報センター、5階マリーホール

7. 第39回兵庫県ろうあ者大会

日 時：令和4年6月19日(日)午後1時00分～午後4時00分

場 所：西宮市立勤労会館

内 容：第一部 大会式典(来賓、来賓祝辞など)

議事(会務報告、大会宣言、大会決議など)

第二部 記念講演「デフリンピック(2025)を日本に招致しよう！」

講師 倉野 直紀 氏(一般財団法人全日本ろうあ連盟本部事務所長)

第三部 フィナーレ(引き継ぎ式、福引抽選会)

参加者：387名

8. 第49回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日 時：令和5年1月8日(日)午後1時00分～午後4時00分

場 所：尼崎市立中央北生涯学習プラザ あま咲きホール

内 容：第一部 大会式典 (来賓、来賓祝辞等)

成人祝いのつどい (新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈など)

卯年生まれ祝いのつどい (紹介、お祝い、記念品贈呈)

第二部 記念講演

「平本 龍之介の漫画魂～海外旅行ハプニング体験談～」

講師 (ろう漫画家) 平本 龍之介 氏

第三部 次回開催地への引継ぎ 尼崎市から三田市へ
福引抽選会

参加者：359名

9. 第40回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会(雨天のため中止)

日 程：令和4年11月20日(日) 9:00～16:00

場 所：三田市立ゆりのき台中学校

10. 第7回兵庫県ろうあ者討論集会

日 程：令和4年10月29日(土)

時 間：13:00～16:15

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

参 加：56名

内 容：「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について

11. 幹部研修会

第1回幹部研修会

日 程：令和4年7月16日(土)

時 間：13:30～15:30

場 所：神戸市立障害者福祉センター

参 加：48名

内 容：「第70回全国ろうあ者大会 in 広島 第10回 評議員会報告会&意見交換会」

第2回幹部研修会

日 程：令和5年2月25日(土)

時 間：13:30～15:30

場 所：あすてっぴKOBÉ

参 加：32名

内 容：障害者権利条約について～パラレルレポートを受けて、今わたしたちに必要なこととは～

1.理事会

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
		2022/ 05/14	2022/ 06/18	2022/ 08/05	2022/ 10/22	2022/ 12/24	2023/ 01/07	2023/ 03/25
理事長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林 泉	出	出	出	出	出	出	出
理事	嶋本 恭規	欠	出	欠	出	出	出	出
	嘉田 真典	出	出	出	出	出	出	出
	仲井 正	出	欠	出	出	出	出	出
	橋詰 一則	出	出	欠	出	出	出	出
	岩本 吉正	出	出	出	出	出	出	出
	山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出
	古 隆喜	出	出	出	出	出	出	出
	足立 達哉	出	出	出	出	出	出	欠
	大塚登代子	欠	出					
	中村 泰輔	出	出	出	出	出	出	出
	水野 洋子			欠	出	出	出	出
	大西 洋子			出	出	出	出	出
監事	吉野 浩	出	出	出	出	出	出	出
	井谷 亮	出	出	出	出	出	出	出
	川上 能壽	出	出	出	出	出	出	出

2. 総会

第11回総会 令和4年6月18日(土) 14時~16時

会場：あすてっぷ KOBE

代議員 出席24人 欠席1人

3. 事務局

- 協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携 及び関係づくりにつとめました。

4. 令和4年度人事異動報告

(1) 採用

令和4年4月1日	玉井 幸子	はりまふくろうの家／嘱託職員
令和4年4月1日	塩濱 浩美	兵庫県立聴覚障害者情報センター／嘱託職員
令和4年6月27日	佐長 麻衣	はりまふくろうの家／嘱託職員
令和5年1月11日	藤田 良子	兵庫県立聴覚障害者情報センター／パート職員
令和5年3月16日	鈴木 佳子	兵庫県立聴覚障害者情報センター／パート職員

(2) 異動

令和4年4月1日 濱崎 明奈 たつのころうあハウス サービス管理責任者として勤務

(3) 退職・契約終了

令和4年4月10日 玉井 幸子 はりまふくろうの家／嘱託職員

令和4年8月31日 塩濱 浩美 兵庫県立聴覚障害者情報センター／嘱託職員

令和5年3月20日 張 堯棟 たつのころうあハウス／正職員

令和5年3月31日 片岡 和美 にしのみや聴覚障害者センター／パート職員

令和5年3月31日 大友 希美 たじま聴覚障害者センター／パート職員

参考資料／関連団体・各種委員会等

(1) 近畿

ア. 第11回近畿ろうあ者福祉労働フォーラム

日時：令和4年11月5日（土）13:30～16:00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：「防災士としてどう生きていくか～防災士によるBCP（事業継続計画）について～」

講師：さかい聴覚障害者防災ネットワーク委員長 高塚稔氏

参加者：30名

イ. 第39回近畿手話通訳問題研究討論集会

日時：令和4年12月11日（日）13時～16時30分

会場：神戸市婦人会館

内容：「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について」

講師：全国手話通訳問題研究会 事務局長 伊藤正氏

特別報告「優生保護法と全国各地の裁判

講師：（一財）全日本ろうあ連盟 副理事長 大竹浩司氏

パネルディスカッション「各府県の手話言語条例について」

コーディネーター：（公社）兵庫県聴覚障害者協会 副理事長 小林泉氏

パネラー：各府県代表

(2) 兵庫県関係

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年2回

(3) 近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

- ・第49回近畿ろうあ者体育大会（奈良）令和4年5月21日～22日
- ・第72回近畿ろうあ者大会（大阪）令和4年10月2日
- ・第11回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム（兵庫）令和4年11月5日
- ・第32回近畿ろう教育フォーラム（大阪）令和5年2月4日
- ・第33回近畿手話サークルフォーラム（奈良）令和5年3月26日
- ・2022年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（和歌山）令和5年1月21日～22日
- ・近畿ろうあ連盟評議員会（和歌山）令和5年1月22日
- ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（兵庫）令和4年4月29日
- ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（和歌山）令和5年1月21日
- ・近畿地区専従職員研修会（和歌山）令和4年11月24日～25日

(4) 全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

- ・第10回（通算第73回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会 令和4年6月10日～11日
- ・第70回全国ろうあ者大会（広島）令和4年6月10日～12日
- ・第56回全国ろうあ者体育大会（北海道） 令和4年9月15日～18日

3. 各種委員会

(1) 情報センター運営協議会

ア. 会議日程：4/23, 5/21, 6/25, 7/9, 1/14, 2/18 要望書提出：8/12

イ. 場所：神戸市立総合福祉センター・兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・兵庫県手話サークル連絡会・兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会
神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

工. 活動内容

令和5年度に向けた要望書をまとめて県と神戸市に提出しました。

(2) ひょうご聴障ネット

ア. 目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立しました。

イ. 令和4年度の活動

(主催事業・行事)

- ・総会(5月9日)会場：長田区文化センター会議室 参加者：60名
- ・夏の学習会(8月11日)講師：田村浩一(東京通信病院医師)
- ・兵庫県聴覚障害者文化祭(中止)
- ・年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行
- ・役員会 毎月第3木曜日 於：東栄ビル
- ・事務局会議 毎月第2、4木曜日→令和2年度は全10回リモートで開催)
- ・2023年ふくろうカレンダーの作成、販売
- ・兵庫県議会訪問(9月16日)

(協力事業・行事)

- ・ふくろうふれ愛まつり(中止)
- ・旧優生保護法被害国賠訴訟 傍聴呼びかけ等

<緊急支援>

地域法人協働事業、通所介護支援事業・居宅介護支援事業「桜ヶ丘」

<会員・資産>

2023年3月31日現在 会員数313人・71団体
(内訳：個人/254、月払54、特別/5 団体/71)

2023年3月31日現在 資産残高20,777,205円

<兵聴協との関わり>

- ・兵聴協から代表委員1名・事務局次長1名・委員2名を派遣。その他学習会などで協力。
- ・「ろうあ兵庫」で毎月聴障ネットの活動を会員に報告、PRを行いました。

(3) 兵庫のろう教育を語り合う会

ア. 定例会議：第2木曜日開催 Zoom 20:30～

イ. 主な活動

- ・第23回ろう教育フォーラム in 兵庫
日時：7月23日(土) 14:00～16:00
会場：あすてっぴ KOUBE (セミナー室1)
内容：ろう学校の現状と課題
講師：堀谷 留美 氏(大阪府立中央聴覚支援学校首席)
参加者：34名

(4) 手話通訳制度化推進委員会

ア【定例会議】

第408回～第406回 Zoom 会議

5/28・6/25・7/23・8/27・9/24・10/6・10/22・10/27・3/24

イ【構成委員】 計8名

(公社)兵庫県聴覚障害者協会(岩本・山本・嘉田) 兵庫県手話サークル連絡会(星・楨本)
兵庫手話通訳問題研究会(伊永・仲井) 神戸聴覚特別支援学校(若松)

ウ 【活動内容】

(ア)「手話通訳者の正規職員化を目指す学習会」

日 時：9月17日(土) 13:30~16:00

講 師：米野規子氏(手話通訳士)

会 場：神戸市障害者福祉センター会議室AB

参 加：55名(現地26名、Zoom17名、集団視聴(三田)12名)

(イ) なるほど・ザ・制度化学習会

日 時：11月26日(土) 10:00~12:00

内 容：「市役所の手話通訳者設置事業を考えよう」

パネルディスカッション・グループ討議

会 場：姫路市総合福祉会館 第1・2会議室

参 加：46名

(ウ) 聴覚特別支援学校高等部3年生を対象にした手話通訳制度についての説明

制度化委員会で作成したDVD鑑賞とお住まいの地域の手話通訳制度についてパンフレットを参考に紹介した。

令和5年1月31日(火) 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校 生徒 7名 嘉田、仲井

令和5年2月6日(月) 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校 生徒12名 嘉田、伊永

【総括】

1983年に手話通訳制度化推進委員会が発足してから40年になります。初期のころは手話通訳制度がほとんどなく、手話通訳制度化をめざしてさまざまな活動を展開してきました。現在は障害者総合支援法の意味疎通支援事業を県下41市町で実施しており、さまざまな分野で手話言語通訳が広がっています。手話通訳制度を作っていく役割について終えたと考えます。今後、委員会をどうしていくか検討していきたいと思えます。

(5) 兵庫手話健康対策委員会

ア. 定例会議：隔月第2月曜日 19:00~21:00 神戸市立総合福祉センター

4/11(月) 6/14(火) 7/26(火) 9/20(火) 11/8(火)

1/16(月) 3/13(月)

イ. 構成委員：(兵聴協)仲井・中村(7月まで)・水野(8月から)

(県サ連)苗村・江木 (兵通研)秦野・鈴木

ウ. 活動内容

・啓発DVD「リラクゼーションのすすめ」販売(増版し啓発していく)

・兵庫県立聴覚障害者情報センター けいわん検診への協力(受付、アンケートの実施)

①篠山会場 丹波篠山市立四季の森生涯学習センター : 6/28(火)

②神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター : 7/1(金)・7/5(火)

③高砂会場 高砂市ユーアイ福祉交流センター : 7/7(木)

④川西会場 川西市キセラホール : 9/22(木)

・第26回近畿けいわんフォーラムin大阪に参加: 11/3(火・祝)

・兵庫県立聴覚障害者情報センター主催健康学習会への協力(受付、ストレッチ): 2/25(土)

・健康対策委員会学習会 『あなたの栄養の摂り方、まちがっていませんか?』を企画

日時：2月26日(日) 13:30~16:30

場所：神戸市総合福祉保健センター

講師：上野 樹世氏（公益社団法人兵庫県栄養士会理事 管理栄養士）

- ・けいわんアンケート結果の集計と考察をし、けいわんニュースに掲載
市町の通訳派遣コーディネーター、けいわん検診を実施している大阪社会科学研究所へ配付

エ. 啓発事業

- ・ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を隔月で掲載

オ. 訪問（オルグ）

- ・ 5/15(日) 尼崎市手話派遣登録センター学習会 場所：尼崎市中央北生涯学習プラザ
- ・ 10/23(日) 伊丹市手話・要約筆記サークル連絡会学習会 場所：伊丹市地域総合センター
- ・ 11/19(土) 伊丹くすのき学級 場所：スワンホール
- ・ 11/21(月) 川西市手話サークル「クローバー」 場所：キセラ川西
- ・ 1/22(日) 兵通研 神戸地域班 場所：神戸市立婦人会

カ. 総括

- ・会議開催は2カ月に1回とし、学習会前などに臨時で集まった。
- ・コロナ禍の影響で8月予定の学習会を急遽中止としたが同じ内容で2月に開催した。
- ・今年度は訪問（オルグ）依頼が5件あり、全ての委員が1回は参加し、けいわんの起こる仕組みやけいわんの予防が大事である事などを講演し体操も行った。
- ・学習会では肩甲骨を意識したTシャツを着用し体操をする事で参加者への意識づけを期待した。

(6) 災害対策委員会

ア. 委員会

Zoom 会議 11月30日 対面 実施なし

イ. 構成委員：(兵聴協) 橋詰、中村、嘉田、岩本 (県サ連) 平塚、竹内 (兵通研) 鞍富、上田

ウ. 活動内容

1. 災害に対する県下の各ろうあ協会へのアンケート集約に関する取組み状況
公共施設へのアイドラゴン設置状況の確認、
自然災害、津波訓練等防災ハザードマップについて
2. 令和4年11月5日(土) 近畿ろうあ者盟福祉・労働フォーラム開催参加協力
『防災士と私としてどう生きていくか』防災士によるBCP(事業継続計画)についての講演
3. 行政職員を対象としたオンライン学習会参加 令和11月18日(金)
「聴覚障害者と災害情報」開催 兵庫県立聴覚障害者情報センター 管理者 岩本吉正氏
4. 1月17日(月)「ひょうご安全の日のつどい」の取材、『ろうあ兵庫』へ掲載

エ. 総括

委員会として、新型コロナウイルスの流行により、「聴覚障害者文化祭」の中止や「ひょうご安全の日のつどい」の出展などで思ったほどの啓発活動や集まったの会議もできなかったが、オンラインや防災に関する情報をろうあ兵庫に掲載するなど取り組みを続けました。

今後も災害時の聴覚障害者への情報保障や聴覚障害者だけではなく広く県民に障害者問題への理解を頂き、障害のある人々だけではなく、やさしい社会を求めて地域の活動の取り組みをサポートし、委員会活動の充実を図りながら積極的に関わっていかねばと実感しております。

(7) 聴覚障害者の医療を考える会

ア. 聴覚障害者の医療を考える（“いのち”を考える会）

5/26 (木) 第 185 回

「睡眠、良い眠り、悪い眠り」～健康な睡眠ってどんな眠り～？

講師：武村 義人 医師（生田診療所 / 神戸市中央区）

参加者 28 名（聴覚障害者 10 名）

7/28 (木) 第 186 回

「暑さだけではない！太陽光線も真夏は身体に危険」

～お肌、目、身体への影響を知って備える～

講師：成 蒼徹 医師（クラージュクリニック / 神戸市西区）

参加者 19 名（聴覚障害者 7 名）

9/29 (木) 第 187 回

「どうしたらいいの？腰痛・膝痛（その 1）」

～体重を落としたのに逆にひどくなった～

講師：細川 巖 医師（細川医院 / 神戸市北区）

参加者 28 名（聴覚障害者 12 名）

11/6 (日) 第 188 回

第 20 回出前 “いのち” in 東播地域（高砂）

「高血圧はこわい」～自分の血圧も測ってみよう～

講師：三木 健史 医師（三木医院 / 高砂市）

参加者 33 名（聴覚障害者 13 名）

2/16 (木) 第 189 回

「腰痛・膝痛のリハビリ（その 2）」～具体的にどんなことをしていくの～

講師：長谷 光 理学療法士（竹富整形外科 / 神戸市中央区）

参加者 20 名（聴覚障害者 9 名）

【総括】

- ・保険医協会の協力と兵聴協との連携により、1987 年から 35 年間継続できている。
- ・開催時は広い部屋を確保し、受付での手指消毒や換気をして感染防止対策を行った。
- ・神戸以外の地域で行う「出前 “いのち”」は東播地域班の協力のもと、高砂市で開催した。

テーマは地域班から要望を受けて決定した。学習会の直前に各自の血圧を測り、参加者がより興味をもって聞けるように工夫した。

イ. 県内行事に参画し「健康相談・血圧チェック・口腔衛生・お薬相談・検査相談コーナー」を設けた。

- ・行事における各コーナーの利用者件数

6/19 (日) 第 39 回兵庫県ろうあ者大会（西宮市立勤労会館）

健康相談 11 件、血圧チェック 34、お薬相談 0、検査相談 0

7/18 (月・祝) (特非) 神戸ろうあ協会創立 100 周年記念大会（神戸新聞松方ホール）

健康相談 5 件、血圧チェック 51、口腔衛生 3、お薬相談 2、検査相談 0

9/11 (日) 兵庫県立神戸聴覚特別支援学校同窓会総会（神戸市立総合福祉センター）

健康相談 6 件、血圧チェック 55、お薬相談 0、検査相談 1

10/ 1 (土) 第 18 回兵庫県聴覚障害者文化際 ※コロナ禍のため中止

1/ 8 (日) 第 49 回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

（尼崎市立中央北生涯学習プラザ）

健康相談 9 件、血圧チェック 36、お薬相談 0、検査相談 1

3/19 (日) 神戸ろうあ協会第 41 回耳の日記念大会（ピフレホール）

健康相談 11 件、血圧チェック 44、口腔衛生 0、お薬相談 0、検査相談 0